

昭和62年度 第5回臨海実習報告

岡 田 清 隆

第5回臨海実習は、1987年（昭和62年）8月10日（月）11：00～8月12日（水）15：00までの2泊3日で、神戸大学理学部附属臨海実験所（兵庫県津名郡淡路町岩屋田之代）で実施された。本年は、兵庫県高等学校教育研究会生物部会、兵庫県生物学会の共同主催、兵庫県教育委員会の後援、神戸大学附属臨海実験所の協力で実施した。講師は、西宮市立西宮東高校教諭・阪口正樹、兵庫県立青雲高校教諭・奈島弘明の両先生で、12名が参加した。

第1日目

10：00 講師（阪口・奈島）、庶務（岡田）が実験所に集合し、研修参加者の受け入れ準備をした。11：00受付、開校式、主催者代表・中北 勝校長（兵庫県高等学校教育研究会生物部会長）、臨海実験所所長榎本幸人先生の挨拶。講師、実験所職員、参加者の紹介。日程、実験所使用規定、当番割り当て説明。11：20 記念撮影。

12：15 実験所出発。12：45 実験材料のウニと海藻採取のため、南淡町「沼島」港に入港した。約30分の潜水により予定の実験材料を採取した。

17：15 無事、岩屋港に帰港した。18：00 夕食・入浴をすませ、19：00 から2泊3日の予定で約35時間におよぶウニの発生実験にとりかかった。阪口先生より、第5回臨海実習ハンドブックをテキストにして、きょく皮動物である「ウニ概論」の講義があった。

ついで、ウニの発生実験の具体的方法についての講義を受け、淡路産ウニの繁殖期、ウニの採卵方法、ウニの成熟度測定、人口受精の手順、卵割順序などの予備知識を得て、ウニの解剖と人口受精に取り組んだ。

第2日目

7：00 起床、9：00から兵庫県立青雲高校・奈島弘明教諭による海藻についての講義

「大和島」、「田之代海岸」にて海藻の「打ち上げ採集」を実施した。

9：00 実験所を出発し、田之代海岸沿いに大和島まで海岸に打ち上げられた海藻を各自採取した。海水浴客でにぎわう大和島周辺で、約1時間潜水により浅海の花藻を採取した。

11：00 さく葉標本の作成実習と講義

(1)大型海藻の同定 (2)簡単な検索 (3)おし葉標本のつくり方等についての詳細な実技指導を受け、各自意欲的に標本作成にとり組んだ。

13：00 明石海峡でのプランクトン採集を(1)表層びき、

(2)中層びき、(3)下層びきまで実施した。14：30 には、早速採取して来た生きた状態のプランクトンを熱心に検鏡した。本年は、顕微鏡ビデオ撮影装置で生きた材料を観察し、教材づくりに励む先生もあった。例年同様、明石海峡のプランクトンの種類の豊富さには、研究意欲をかきたてられる。

第3日目

7：00起床、9：00 臨海実験所所長の榎本幸人先生から、最近の海藻に関するトピックスの特別講義を受けた。(1)海藻類の生活史とその地理的分布。(2)海藻類の原形質流動について。

特に、「細胞骨格 cell micro tube の研究」と「蛍光抗体法による多核細胞の研究」は、その研究の最前線で熾烈な活動のあることを知らされた。

<謝辞>

第5回臨海実習は、榎本先生、阪口先生、奈島先生、中北校長および実験所技官の方々の絶大な指導と協力により、多大の成果を得て、充実した研修を無事に終了できました。関係諸氏に深く感謝いたします。ありがとうございました。（柳学園高校教諭）



第5回臨海実習参加者